

## ■ 令和7年度 第1回 東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

日 時：令和7年7月29日（火）午後2時から  
会 場：東区プラザ 多目的ルーム1

（司 会）

お疲れさまでございます。定刻には若干早いのですけれども、皆様お集まりでございますので、ただいまから令和7年度第1回東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催いたします。

本日はご多用のところご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

本日司会を務めさせていただきます、東区健康福祉課課長補佐をしております岡村と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

会議に先立ちまして、本日の欠席者のご報告をさせていただきます。山の下地区コミュニティ協議会の星野委員、中野山小学校区コミュニティ協議会の白井委員、木戸地域コミュニティ協議会の星委員から所用のため欠席とのご連絡が入っておりますので、ご報告させていただきます。

本日の会議につきましては、後日、会議録を公開するため、録音させていただきますので、あらかじめご了承をお願ひいたします。

はじめに、配付資料の確認をお願ひいたします。本日の委員会の次第、座席表、資料1「令和7年度第1回東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会委員名簿」、資料2「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会開催要綱」、資料3「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画（2021～2026）令和6年度分実績一覧」、資料4「令和6年度地域福祉活動計画における地域別計画の評価報告」、最後に資料5「令和7年度東区地域福祉活動計画推進スケジュール（案）」、本日の資料は以上となります。資料をお持ちでない方、また不足している方がいらっしゃいましたらお知らせいただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、次第1、開会あいさつに入ります。東区健康福祉課、星野課長からごあいさつを申し上げます。

（健康福祉課長）

皆様、こんにちは。東区健康福祉課長の星野でございます。どうぞよろしくお願ひします。

本日はお忙しい中、会議に出席いただきまして、まことにありがとうございます。皆様におかれましては、日ごろより地域福祉計画と地域福祉活動計画の推進にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

また、今年は委員改選の年でございました。委員をお引き受けいただいた皆様に、改めてお礼を申し上げます。

非常にうだるような暑さが続く今日でございますけれども、皆様、いかがお過ごしでしょうか。直近で言えば、選挙、大変でございました。うちでは4会場を持っていまして、全て体育館ですので、クーラーが入らないので非常に大変な思いをしましたけれども、休みを頻繁に取りながら対応したということで、最近の暑さにはまいっているなという感じがします。また、毎年のようにニュースで散見されるのが、お年寄りが熱中症になられて運ばれるというニュースをよく見ますけれども、うちの親も89歳と85歳で、買い物から帰ってきますと、暑いのにクーラーをつけていないときがあって、ここまで暑いと、今のような暑さだとつけておりますけれども、つけていないというような状況がありまして、「なぜつけないの」と言うと、「じつとしていれば暑くないんだ」とか、「窓から風が入るんだ」というようなところで、少し体感の違いがあるのですけれども、やはりそこが危険なのかなと思っています。そこで自覚症状がなくて、水分も摂らなくて、クーラーもつけないということで、運ばれるケースもあるということなので、私は同居しているのですぐ注意はできるのですけれども、地域におかれましてはそうではない方もたくさんいらっしゃる中で、皆様からもお声がけをしていただければ、ありがたいと思っていますところでございます。

地域社会が希薄な関係ということで、今、全国そういう問題があるかもしれませんけれども、助け合い、支え合いなしで生活し続けていくということは、これからは困難であるということで、そういう助け合い、支え合いの精神が廃れてしまわないように、特にこの計画の地域福祉活動計画、これを、社会福祉協議会を中心に、座談会をとおして皆さんに議論していただいていると。どこの区とは言えないのですけれども、東区は実はほかの区と比べてかなり進んで、地域の方が自分たちで課題を見つけて解決していくという姿が、東区の中では非常に進んでいると感じておりますので、引き続き皆様のご協力を得ながら、実効性のある活動に進めていきたいと思っております。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

(司 会)

続きまして、東区社会福祉協議会、川上事務局長からごあいさつを申し上げます。

(東区社会福祉協議会事務局長)

皆様、お疲れさまでございます。東区の川上でございます。日ごろより地域福祉計画、特に活動計画の部分につきましては、皆様から大変なご尽力をたまわりまして、誠にありがとうございます。改めて深くお礼申し上げます。

今ほど課長からもお話をございましたように、この地域福祉計画、特に活動計画の部分につきましては、皆様のお力添え、皆様が主体となった活動、これがもちろん中心でございます。

さまざまな地区においての座談会等でご意見をいただきながら、今、少しづつ具体的な動き、理念の計画だけではなくて実践計画でございますので、そこを具体的にどういうふうにするかということを皆様と一緒に考え、また、実践しているところでございます。

計画、座談会ももちろんですが、こういった機会、さまざまな場面で皆様からのご意見を賜り、そのご意見を賜っていることこそが、この活動計画の柱となっている部分でございますので、本日も皆様からの多様なご意見をちょうだいできればありがたいと存じます。本日はどうかよろしくお願ひいたします。

(司 会)

次第2、自己紹介に入ります。

今年度は、当推進委員会につきまして改選の年でございます。前の任期から引き続き務めていただいている方もおりますけれども、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、皆さまにお配りしてございます資料1の委員名簿をご覧になっていただきまして、委員名簿の順に、簡単でけっこうでございますので自己紹介をお願いいたします。小湊委員からお願ひしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(小湊委員)

小湊です。先回に続いて2期目ということになります。1期目、先回はなったばかりでよく分からぬ面が非常に多くて少し戸惑っていたのですが、2期目に入りまして、何とか役に立てればと思っております。

話が少し飛ぶのですけれども、福祉に関することで、つい先週の後半です。私は町内会長もやっていますけれども、詐欺事件が発生しまして、東区は全体的に少し多くなっているということもあって、私の町内でそういう事件が起きたものですから、実は警察の方が見えられて、私も初めて警察手帳を見せてもらって少しドキッとしたのですけれども、そういう意味で言うと、我々が、町内の方とかそういう関係とのコミュニケーションがやはり足りないのかなというふうに今感じているところです。この中でいろいろとそういう計画もいろいろな意味でされていますので、皆さんも含めて、よく話し合うという場をいろいろな意味で設けていただきたい。私も、知っている範囲ですけれども、ちょっとした声掛けをするとか、そういうことをやりながら、今期、務めたいと思っております。

話がそれましたけれども、以上です。よろしくお願ひします。

(椎谷委員)

東山の下コミュニティ協議会の椎谷と申します。私も今期、2期目になります。今まで社会福祉協議会、支会、そちらのほうで一生懸命いらっしゃったのですけれども、少しすそ野を広げようということで、コミ協の方にぶつけられまして、昨年度から私が参加しております、

少しづつでも福祉関係の仕事が分かりかけてくれればいいなと思いながら、皆さんのお話を聞きながら参考にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(服部委員)

下山地区コミュニティ協議会の服部と申します。何も分かりませんけれども、よろしくお願ひいたします。

(伊藤委員)

紫竹中央コミュニティ協議会の伊藤といいます。私も2期目に入ります。何とか2期目、大役ではございますが務めてまいりたいと思います。

(乙川委員)

牡丹山小学校区コミュニティ協議会の乙川と申します。何も分からぬので、よろしくお願ひいたします。

(新田委員)

大形地区コミュニティ協議会の新田といいます。2期目に入りました。よろしくお願ひいたします。

(立川委員)

江南小学校区コミュニティ協議会の立川と申します。私も初めてで何も分からぬので、皆さん、よろしくお願ひいたします。

(渡辺委員)

南中野山コミュニティ協議会の渡辺幸一といいます。私は、事情がありまして3期目に入っております。よろしくお願ひいたします。

(小野寺委員)

東中野山小学校区コミュニティ協議会の小野寺と申します。私も今回初めてでございますので、よろしくどうかお願ひいたします。

(大澤委員)

竹尾地区民生委員児童委員の大澤と申します。よろしくお願ひいたします。

(櫻井委員)

いつもお世話になっております。地域包括支援生活センター石山の櫻井と申します。管理者をしております。順番に地域包括支援センターのほうで出させていただいていますが、今期は石山ということなので、皆さんのお話、仲間に入れていただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

(桑野委員)

東区老人クラブ連合会から来ました桑野栄子と申します。2期目でございます。今までほと

んど何も貢献できなかつたのですが、また、2期目ということでご指名に預かりましたので、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(樋口委員)

東山の下地区民生委員児童委員の会長をしております樋口です。東区の会長会の中で、自治協議会の役員として選ばれてここに来ております。よろしくお願ひいたします。

(小池委員)

新潟県立大学人間生活学部子ども学科の教員で小池と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

(司 会)

ありがとうございました。

次に、今年度の事務局を紹介させていただきたいと思います。

(事務局：健康福祉課課長補佐)

東区健康福祉課で課長補佐をしております齋藤です。よろしくお願ひいたします。

(事務局：早川)

石山地域保健福祉センター所長の早川です。よろしくお願ひします。

(事務局：南)

東区健康福祉課の保健師の係長をしております南と申します。よろしくお願ひします。

(事務局：秋山)

健康福祉課の健康増進係の秋山と申します。よろしくお願ひいたします。

(事務局：押木)

地域福祉高齢介護グループの押木です。どうぞよろしくお願ひします。

(事務局：浅野)

児童福祉担当の浅野と申します。よろしくお願ひいたします。

(事務局：関根)

こども支援担当の関根と申します。よろしくお願ひいたします。

(事務局：小名)

障がい福祉係長の小名と申します。よろしくお願ひいたします。

(事務局：大野)

東区社会福祉協議会事務局長補佐の大野です。よろしくお願ひします

(事務局：川上)

東区社会福祉協議会の川上と申します。よろしくお願ひします。

(事務局：鎌田)

事務局の東区健康福祉課の鎌田と申します。よろしくお願ひいたします。

(司 会)

次第3、委員長、副委員長の選出について、です。

委員会の進行につきましては、東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会開催要綱第4条第2項により、委員長が行うことになっておりますけれども、選出されるまでの間、私のほうで引き続き進行させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会開催要綱第4条第1項に、委員長は委員の互選により定めるとなっております。委員長候補として、どなたか立候補、ご推薦などございましたら挙手をお願ひいたします。

(新田委員)

立候補ではありませんけれども、小池先生にお願いしてよろしいかと思います。お願いします。

(司 会)

ありがとうございます。ただいま小池委員を委員長に推薦するというご発言がございましたけれども、皆様よろしいでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。皆様のご賛同によりまして、小池委員に委員長をお願いしたいと存じます。小池委員、よろしくお願ひいたします。

小池委員におかれましては委員長席へ移動をしていただきまして、ひと言ごあいさついただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(小池委員長)

皆様、改めまして小池です。どうぞよろしくお願ひいたします。

ひと言だけ。先ほどの課長の話ではないのですけれども、皆さん、話していると分かると思うのですが、出身は奈良県生駒市というところです。奈良県生駒市、皆さん、聞いたことがありますか。あまりネームバリューのあるところではないのですが、実は今、地域包括の先進的な取組みをしている自治体ということで、特別監という方を設置されて、地域の地域包括に取り組んでいるということを先日知って、自分が離れて 25 年経ったらこんなに変わるんだと思いながらお話を聞いていたところではあったのですけれども、私も自分の両親が今、生駒で暮らしています。

両親ともありがたいことに元気でいてくれているので、私は新潟で安心して仕事をしている

というような状況です。うちの父も、実は、地域の皆さんと同じように、ずっと民生委員とか子ども会の会長とか、今は老人クラブの何とか、いろいろずっと役職というかいろいろな役をさせていただきながら、今、地域の中で、生駒の中で暮らしているというような現状です。離れていて、すごく心配なこともたくさんあります。この暑さですし、元気にしてるのかな、朝晩畠に行くというから、止めときと言うのに行きたがるので、行っている場合ではないと言っているのですけれども。でも、ありがたいことに地域の皆さんとのつながりがある、そういう形で活動に参加することで、みんなお互いに顔が見える関係性ができているということは、離れて暮らしている実の娘にとってはすごくありがたいことだと、いつも思いながら過ごさせていただいております。

ともかく、それぞれの地域で、親にも「頑張ってね、私も新潟で頑張るから」と言いながら今までやってきたというところもあります。そういう意味では、皆さんとこういう機会を通じて一緒に仕事をさせていただけること、すごくありがたく思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

(司 会)

どうもありがとうございました。続きまして、副委員長の選出です。東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会開催要綱第4条第1項に、副委員長は委員長の指名によって定めることとなっております。小池委員長、いかがでしょうか。

(小池委員長)

地域の代表者として非常に経験豊富な渡辺委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(拍手)

皆様、いかがでしょうか。ありがとうございます。

(司 会)

ありがとうございます。皆様のご賛同によりまして、渡辺委員に副委員長をお願いしたいと存じます。渡辺委員、よろしくお願ひいたします。ひと言ごあいさつをお願いいたします。

(渡辺副委員長)

渡辺です。先ほども申しましたように、事情があつて3期目になりましたけれども、この場所に座るような貢献をしたとは、自分では到底思えません。ですけれども、推薦をいただきましたので頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(司 会)

ありがとうございました。

推進委員会開催要綱第4条第2項により、ここからの会議の進行は小池委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(小池委員長)

それでは、委員長を務めさせていただきます。各皆様からの忌憚のないご意見や積極的なご発言をいただけたとありがたいと思います。皆様方のお力添え、どうぞよろしくお願ひいたします。

次第の報告事項に移ります。

まず1点目、東区地域福祉計画・地域福祉活動計画令和6年度実績報告につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

説明させていただきます。東区役所健康福祉課の鎌田と申します。

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画令和6年度実績報告についてご説明いたします。お手元に資料3をご用意ください。

はじめに資料3の表紙をご覧ください。東区地域福祉計画の基本理念として、「地域の人々とのふれあいや支え合いの中でみんなの顔が見え、元気で安心して暮らせるまち」と定めております。ここに記載されている事業は、東区役所、東区社会福祉協議会実施分のものになります。時間の都合上、この場で全ての事業については説明できませんので、はじめに健康福祉課所管の事業を中心にいくつかピックアップして報告をさせていただきます。その後に東区社会福祉協議会から報告をさせていただきます。

まず、1ページ目をご覧ください。

基本目標1、支えあい、助けあい、つながりあうまちづくり。(1) 地域で気軽に助け合える関係をつくりましょうの①番です。「見守り訪問による高齢者の実態把握」についてです。この事業は、介護認定を受けていないなど、第三者の目が届いていないと思われる、高齢者のひとり暮らしの方や高齢者のみ世帯の方を対象に、民生委員のご協力のもと、訪問などによる現況調査を行い、それぞれの状況に応じたサービスへ誘導するというものです。実績として、令和6年度の訪問数が8,908件、最終的に介護保険等の制度利用につながった方は、ここには書いておりませんが6名、今後の見守りが必要とされた方は4名となりました。見守り訪問を実施することによって高齢者の孤立した生活の予防や解消、適切なサービス享受への導きができる有効な事業となっております。民生委員の皆様からご理解、ご協力をいただき、今後も継続して取り組んでいく必要があると考えております。

続いて、資料をめくって3ページ目をご覧ください。(3) 地域で子育て支援ができる仕組み

をつくりましょうの⑥「児童虐待防止研修会」についてです。児童虐待の早期発見や予防、児童虐待の事象に対し的確で迅速な対応を行うため、学校や保育施設ほか区内関係機関を対象に研修を開催し、昨年度よりも多数参加いただきました。

続いて、資料4ページ目に移ります。

基本目標2、健康で住みやすいまちづくり。(1)心身ともに健康で生きがいを持った生活を送りましょうの⑦「介護予防教室や認知症予防教室の開催」についてです。介護が必要となるおそれのある人に対し、運動器・口腔機能向上、栄養改善の複合型教室や脳活性化の健康教室を開催する取組みです。前年の令和5年度と比べ、複合型教室は開催回数と参加者数は減少していますが、介護予防教室は、回数と参加者数が増加しており、市民の皆様の介護予防に対する関心の高さがうかがえます。講座終了後は、地域の自主活動へつなげられるよう、引き続き健康づくりや介護予防の意識の醸成を進め、支援していきたいと考えております。

続いて、9ページ目に移ります。基本目標4の説明になっております。

基本目標4、だれもが集まれる機会・場づくり。(3)地域の学校や、いろいろな施設・団体と交流しましょうの②「思春期健康教育」についてです。思春期の子どもを対象に、「思春期の心と身体の変化」、「性」、「生命」、「性感染症予防」などをテーマに健康教育を実施するものです。コメントにもありますように、令和5年度より、高校および特別支援学校へも対象を拡大して実施しております。性被害や望まない妊娠などを防ぐため、引き続き力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

以上で新潟市の実績報告を終わります。市事業分の全体総括といたしまして、それぞれの事業が地域福祉計画に定める各基本目標の推進につながったと考えております。今年度につきましても、全ての事業が継続して地域福祉計画を構成するものと位置づけ、引き続き周知に努めてまいります。

続きまして、社会福祉協議会からお願いいいたします。

(社会福祉協議会)

東区社会福祉協議会の大野です。

令和6年度における東区社会福祉協議会の主な取組み事について、総括的にご報告をさせていただきます。

最初にお伝えしたいのは、社会福祉は特別な人のものではないという私たちの基本的な考え方です。だれもある日突然支援を必要とする立場になる可能性を持っています。しかしながら、現実には、まだまだ福祉は自分には関係ないといった認識が根強く存在しているのが実情です。そこで、私たちはこの無関心の壁を乗り越えることを大きなテーマとしまして、本計画の基本理念にも通ずる、全ての人が支え合いの一員となる地域社会実現を目指して、地域福祉

の本質とも言える、つながりと共感に立ち返り、特に、福祉に关心のない層との接点づくりに重点を置いた事業展開を令和6年度、行いました。ここからは、その具体的な取組みについて、五つの項目について分けてご報告いたします。

まず1点目です。1ページ目の⑥をご覧ください。「地域福祉推進フォーラムの開催」です。こちらはプランの推進を目的に、年1回開催しているフォーラムです。昨年度は約300名の参加があり、福祉関係者のみならず、地域で活動する団体、企業、住民など、多様な方々にご参加いただきました。特に今回は、エンターテインメントと社会貢献を融合させ、ラジオ番組のスーパー・ササダンゴ・マシンさんのナマジバラを取り入れたことで、福祉に关心の薄い層との接点づくりを意識した内容といたしました。小地域で活動する方々のエンパワメントにもつながり、福祉活動のすそ野を広げる契機になったと考えております。

続いてその下、⑦「CSWによる生活課題への相談支援」です。昨年度も、ひきこもりやゴミ屋敷状態といった複合的課題を抱える世帯への支援を継続して行いました。個別課題を単発で終わらせるのではなくて、地域全体の課題へつなげて、住民の主体的なかかわりを生み出すことを目指しております。そのためのアプローチを今後さらに強化していきたいと考えております。

続いて3点目、3ページをご覧ください。こちらの⑩「子ども食堂ネットワーク事業」でございます。子どもの生きる力を育むことを目的に、子ども食堂の立ち上げ・運営支援を行っております。昨年度はネットワーク会議を1回開催し、障がいのある方のかかわりをテーマに情報交換を行いました。また、地域事業者による子ども食堂への支援が広がるなど、福祉分野以外の主体の参画も見られるようになっております。新規立ち上げの相談も2件寄せられ、活動の浸透を実感しております。今後も多様な立場の方々と連携しながら、支援の輪を広げていきたいと考えております。

続いて4点目、5ページをご覧ください。⑦「障がいを理解するための取組み」でございます。障がい者の社会参加や活躍の場を広げるため、「表現」、「アート」、「障害」をテーマに、トークセッションと映画上映会を開催しました。この取組みでは、普段、福祉に关心が薄い層や企業など、異分野の方々の参加も多く見られました。重層的な連携、協働により、福祉の価値を広く共有する試みとなり、今後もつながりを意識して、障がい理解の促進と社会参画の機会づくりを進めてまいります。

最後です。9ページをご覧ください。④「福祉教育・体験学習への協力」でございます。小中学校13校、延べ36回、3,090人の児童を対象に、福祉教育や体験学習の支援を行っております。福祉の理解が根本的な固定観念にとどまらないようにプログラムを改良いたしまして、より実践的、共感的な内容を提供できるよう、内容を工夫いたしました。また、下山中学校で

は、特別講演会として、東京パラリンピックで演奏を行った川崎昭仁様をお招きしまして、障がいへの理解と感動を得られる貴重な機会を設けておりました。こうした取組みを通じて、若い世代が共生社会の担い手となっていくよう、引き続き、福祉教育の質の向上を図ってまいります。

以上、五つの柱を中心に、令和6年度の取組みの報告を行いました。制度のはざまで支援が届きにくい方々への対応や、地域別ワークの活性化を通じて、福祉は自分にも関係があるものなのだという実感を地域全体で広がりを、今後も丁寧に、そして着実に取り組んでまいりたいと考えております。以上で報告を終わります。

(小池委員長)

ご報告ありがとうございました。ただいまの説明に対しまして、皆様のほうからご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

ありがとうございます。特にご質問、ご意見等がないようでしたら、報告事項2点目に移つてまいります。

続きまして報告事項（2）地域福祉活動計画における地区別計画の評価報告につきまして、はじめに、事務局である東区社会福祉協議会から概要説明、続いて各コミュニティ協議会の皆様より、それぞれ5分程度で地区別計画についてお話を伺いしたいと思います。皆様からのご発表、ご報告が終わりましたら、そのあと、今回委員として参加していただいているコミュニティ協議会関係以外の方たちに、皆さん、ひと言ずつコメントをいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

社会福祉協議会からよろしくお願ひいたします。

(社会福祉協議会)

東区社会福祉協議会の川上です。概要の説明をいたします。

前年度、地域福祉座談会を開催し、皆さんのお手元にある資料4の案内のまとめをしていただくことができました。今回、初めての方もいらっしゃるので、座談会とは何だろうというところも含め、説明させていただきます。

この地域福祉座談会、前回の委員さんといろいろ調整して開催に至りました。その開催日には、参集の皆様にプラン周知のための説明と、当課より地域の情報シートを基に前提を共有いたしました。その後、日ごろの活動状況の評価、新たな課題等について、グループで意見交換をしたのちに、参加者同士で各グループの意見を共有し、ああ、こんな意見があったんだなとか、こういう気づきがあったんだなというような感想を多く得られたことがよかったです。

また、後日、グループワークの内容を基に、こちらの資料のところにもございます項目、課

題とよかったです、次年度以降取り組むことの項目を中心に、令和6年度の活動のまとめとして策定し、地域の皆様と検討をいたしました。前回、3月に実施した委員会ではまだ評価が終わっていない地区もありましたので、グループワークでの意見要約を基に、各地区の取組みについて意見交換をしたという次第でございます。

今回につきましては、評価も全ての地区で終了していますので、令和6年度の計画評価がどのようにまとめたのか、また、特出する点がございましたら報告をしていただくということになっております。なお、お休みの地区に関しては私のほうで説明をさせていただきたいと思います。

概要説明については以上です。

(小池委員長)

それでは、各地区からご報告をお願いしたいと思います。最初に山の下地区になりますか。

(社会福祉協議会)

引き続き川上のほうで、山の下地区のご報告をさせていただきます。

1ページ目です。評価については、推進目標1、2、3とございますが、それぞれB、A、Cと、グループワークの検討を基に決めさせていただきました。課題については、特に盛り上がった話題といいますか、やはり災害時の支援体制の不十分さというところが特に話題にあがったというところでございます。グループワークのときも、海の近くで避難がすぐできないといけないというところもあって、盛り上がったところもあったので、ここはやはり体制として整備する必要もあるし、個人としての意識の醸成というところも大事だよねというようなお話をしておりました。

関心が今、山の下では、夜遊びランドやハロウィンパーティーなど、いろいろな地域行事を新しく企画しているような状況がございます。こういった取組みを継続してやっていくことで、若い方、子どもとか若年層が地域交流の輪に加わっていけるといいなというようなお話がありました。

また、4番のところです。高齢者や障がい者支援の継続的実施というところでは、自治会、ボランティアなど地域住民がこういった活動をしていく必要があるねということも確認いたしました。

次年度に向けての話では、災害対応がポイントだなというところでございます。要支援者、支援者の安全確保のバランスを取りながら、各自治町内会をベースとして、代表がやり取りしていく中で、体制整備、普段の関係性づくりの推進というところを、地域の中のさまざまな活動から推進していくことでまとまっております。

山の下については以上です。

(小池委員長)

ありがとうございました。続いて桃山地区、お願ひいたします。

(小湊委員)

桃山地区です。

いろいろなグループワークの意見を集約して、評価としてはAとB、こういう形になっています。

5ページに、取組み状況から見える課題、1、2、3、4とありますが、やはりこの辺、1もそうです、「助けてほしい」という声がなかなか上げづらいとか、2番も、町内会活動の担い手。一番小さな単位が、こういうボランティアでの単位が町内活動であるわけですが、そこでの担い手が非常に不足をしているというところが課題です。3番目として、多世代・若年層の参加がやはり少ないかなと。いかにそういう人たちを参加させるかというところ。あとは4番目の地域資源をいかに活用できるかと。何となく集まれる場所が必要かなというような課題が見えました。

評価として、これも1、2、3、4とあるのですが、住民同士のつながりを深める取組みが一応進みました。いろいろな意味で、防災訓練、ラジオ体操、ふれあい給食会、そういったものを行い、これらも親子参加型でできるだけやれるように。2番目、地域課題の見える化。桃山地区、桃山孤立ゼロプロジェクトを2年連続してやっています。この辺をやりますと、今までなかなか会話がなかった人たちといろいろな会話ができるチャンスができたということもありまして、大変よかったです。3番目として、町内会・自治会の連携。この辺も、できるだけ合同で何とかイベントをやろうよということもありますし、今まで単独でやっていたものを共同でやれるようになってきました。まだそんなに完璧ではありませんが、そういうことです。集会場での会合なども、少しずつ進んでおります。

最後に次年度に向けてというところが、一番、今後どうしたらいいのか、一番ハードルが高いのかなと思っています。というのは、要するに、やはり担い手が少ない。イベントを開催しようとしても、なかなか若い人が参加してくれない。確かに、イベントはやれるのですけれども、毎年同じようなメンバーでやっているというところが問題かと。今後としては、若い人たちも含めて、単に「来てください」、単に「やってください」ということではなくて、その人たちが来たときに、こういうような内容で、こういう仕事が、ボランティアがある、それで少し手伝ってもらえないかというような、参加型といいますか、ただ来るのではなく、来ていただいて何かをやっていただくということを重点的にやって、参加してほしい。いわゆる、自分が役に立つんだよということをアピールしたいと思って、次年度の計画としております。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、東山の下地区、お願ひいたします。

(椎谷委員)

東山の下地区です。

評価はA、Aになっておりまして、達成できているのではないかなと、力強く思っておりまます。その中で1点だけ集中的にお話したいと思うのですけれども。ここに、次年度に向けても載っております、防災体制の件なのですけれども、当地域としては、町内会の力ではなくて、町内会の若い防災士を養成しまして、昨年からですか、コミュニティ協議会で防災士を10名、65歳以内の人たちを募集しまして、昨年10名、今年も10名の募集があります。これで、今、現在、この10名で、28名の防災士が誕生いたします。この人たちの中で、各避難所運営を賄ってもらうという形で、町内から離れて、コミュニティ協議会全体で運営していこうということで今取り組んでおります。これもお金がかかる作業なのですけれども、この辺を少し強くしていって、若い人たちをどんどん呼び込んでいこうかなという計画をしております。

先ほど、山の下地区さんからも話がありましたけれども、避難所、これが、うちのほうは高台なものですから、山の下、桃山地区の方たちが避難されて来られる。今までも、1月1日の能登、その前の村上のときにもそうなのですけれども、皆さん、大勢、避難されてきます。ですから、1地区だけの話ではなくて、各、桃山、山の下地区の人たち合同で、そういう避難所の運営の集まりをまとめてみたいと思っております。こういう機会で、皆さんとお話できればいいかなと思っています。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、下山地区、お願ひいたします。

(服部委員)

下山地区です。

グループワーク意見の集約は3項目で、推進目標1、2、3とあります、評価についてはそこに書いてあるとおりであります。

特にAのところで、コロナ禍でいろいろ活動が休止になっていた部分があるのですけれども、例えば令和7年度からふれあい給食をやるということで、こういうものも、今までコロナ禍でやってこられなかったものをこれからやっていこうということで、非常に、行事の内容としては充実していました。

取組み状況から見える課題についてなのですけれども、地域の茶の間の集まり、この辺がなかなか活発化してこないということで、これについては、いろいろ、若年層も巻き込んだ形で工夫していかなければいけないだろうということでありました。

評価については、そこに書いてあるとおりです。

次年度に向けてなのですが、下山コミ協支え合いの会というものがあるのですが、これは今、特別ごみ出しとか仮支援、庭の手入れとかそういうものしかやってこなかったのですが、今年度から、下山のコミュニティ協議会の送迎関係です、下山地区の送迎関係、病院送迎関係、買い物同行とか買い物代行、こういうものも取り入れてやっていくということになりました。そういうことで、コミュニティ協議会がやはり中心になってこの活動には積極的に参画していかなければいけないだろうという話が出てきました。

登校時のあいさつ声掛け見守り活動で、青色パトロールということをやっているのですけれども、これも継続して実施していこうということを言っております。

いずれにしてもコミュニティ協議会がこれにかかる関わり方、これによって活動も変わってくるだろうということで、今後ともコミュニティ協議会が積極的にかかわっていきたいと考えています。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、紫竹中央地区、お願ひいたします。

(伊藤委員)

資料の受領を受けまして、関係推進員で評価のまとめを行いました。その内容について説明させていただきます。

お手元の資料、推進目標1、地域ぐるみで子どもの安全を見守っていこう。これにつきましては、子ども見守り隊は学校PTA、自治会で結成され、7年が経過しました。大変な任務に支援が行き届いているか、疑問があります。最近、見守り活動が迷惑行為などのメール書き込みがありました。今後の活動継続が心配されます。

続きまして、推進目標2、災害時の助け合いの基盤をつくろう。自治会における自主防災組織の役割を通じて、自助、自分自身や家族の身を、安全を守ることを前提に、自宅内の安全点検、家族内での連絡手段や避難場所などについて、住民と連携した防災活動を行います。

続きまして、推進目標3、顔の見える関係づくりを進めていこう。子どもの安全安心づくりについて、見守り隊を担っている方の貴重な意見が多くありました。子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるように、あいさつ、声掛けを行い、地域の良好な関係づくりを進めていきます。

続きまして、取組み状況から見える課題。こちらは、茶の間の開催から半年が経過し、存在は知れ渡っております。利用するか否か、まさに価値観の多様化時代、1週間に2回開催しておりますが、連日、盛況に利用いただいております。今後、イベント開催などを検討し、世代間交流の場となりますように努力してまいりたいと思っております。

続きまして、評価（取り組んだことの効果や成果）です。こちらは、コミュニティ協議会の

年間行事計画を基に、地域部会からの活動利用を提案型として取り入れました。本来、コミュニティ協議会で計画を立てて一様に提示するわけですが、少し嗜好を変えまして、各部会からいろいろな行事を提案していただくということを取り入れ、こちらに力を入れたところです。世代間の趣味や嗜好につながり、子どもからお年寄りまで多種多様な交流の場として、取組みが好評でした。

最後に、次年度に向けて。コミュニティ協議会を支える各自治会ともに、住民の加入率はほぼ達成されておりますが、地域活動に参加する方が限定的です。アパート、マンション世帯が6割を占める地域柄、多様なライフスタイルにあわせ、参加を認め、少しでも活動に参加できる環境を整え、担い手確保に努めます。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、木戸地区、お願いいいたします。

(社会福祉協議会)

木戸地区の報告、川上よりさせていただきます。

評価、グループワークの意見の集約ということで、推進目標1、2、3とございますが、評価については1がA、2がB、3がBということでまとめられております。

取組み状況から見える課題といたしましては、今まで2層の取組みを中心にやってきたところがございまして、だんだんダンス、健康ボウリングでの参加者、減少はしつつも、参加を続けている方がいらっしゃって、また、その方が元気に参加し続けているというところでは、課題ではあるのですけれども、引き続き、続けていきたいということでお聞きしております。

評価につきましては、健康ボウリングのところに関しては、20人くらいの参加が継続的に続いているというところもございますし、今年から吹き矢をやり始めて、いろいろな入口をコミュニティ協議会としては増やしていこうということで、この評価を活かしながら取組みを展開していくということになっております。

次年度に向けてというところに関しては、特に、1番目の健康寿命の延伸のところなのですから、在宅介護をテーマとした勉強会、こちらが既にもう開催している状況です。6月の時点で、包括さんに講師に来てもらって、包括の紹介とか、介護を使うにはどうするのかといった流れを、自治会長を対象として開催しました。やはり知らない方も多いといったこともありますし、自治会長が知ることで住民からの相談を適切に繋げられるようにするような機会を広く作っていきたいなということで、取組みをやっている状況です。

ただ、木戸地区の中でも、木戸小学校、竹尾小学校と、広いエリアでもあるので、課題が異なる点はあるのですけれども、共通のものとかを中心に進めていけたらということになっております。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、牡丹山地区、お願いいいたします。

(乙川委員)

牡丹山地区では、安心して暮らせるまちづくりをしようということで、思いやり応援隊というものがありまして、草取りや電球交換。依頼は多いのですけれども、やり手が今、高齢者ばかりなので、若い人がいなくてちょっと大変というような、若い人から入ってもらえると助かるなという課題もあります。芦沼会と認知症模擬の訓練をしております。つながり、助け合い精神の強化を深めていると思います。学校単位での見守り隊の活動、防災訓練を実施することにより、地域の安心感を高めているところです。

茶の間の居場所の活用ということで、茶の間で健康講座をするのですけれども、参加者は増加しておりますけれども、若い世代が入って来ない。年寄りばかりで。やはり、もう少し工夫した集め方をしないとだめかなという話が出ております。

地域で情報を共有ということで、やはり自治会と民生委員の連携が重要。双方の状況でなかなかうまく連携が取れないということで、こういうものに対して交流会を開催したほうがよいのではないかという要望が出ております。

取組み状況から見える課題。アパート等の高齢者。呼んでも出て来ない。返事もしてくれないということで、なかなか、どういう生活をしているかという確認が取れないので、何とかその辺も、民生委員と連携しながら自治会とやっていこうとするのですけれども、やはり連携が少し難しいということはあります。

取り組んだことの効果として、住民の顔がよく見えるようになり、安心感が向上した。防災訓練の活動の実施により、地域の防災意識が高まり、協力体制が強化しているということです。

次年度に向けて。自治会、民生委員との情報交換会開催を検討。民生委員の改選時に実施できると、お互いの役割や活動内容を知ることができるということです。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、大形地区、お願いいいたします。

(新田委員)

皆さんからは、本当に地域の方に高い評価を得られた令和6年度の活動ではなかつたかなと思います。

1番の地域のつながりですけれども、子ども食堂をはじめとした、今、月1の地域との交流会をさせていただいて、オアシスというのを今年度開催させていただいたりとか、なかなか、皆さんと一緒に会して、子どもと地域が集まるということがないので、それを開催することができたらなと思っております。青少年育成協議会が若い世代の仲間づくりに力を入れており、

徐々に担い手のバトンタッチができているという報告がありましたので、今後、これを期待していいかと思います。

取組み状況から見える課題といたしましては、やはり、ボランティアの方が高齢化が進んでおり、活動の継続に向けた新たな担い手の募集のための工夫が必要なのではないかということで、これも青少年育成協議会の若い人たちとそういう懇談会をしながら、今の実情、地域ではこんなことで困っているということの話し合いの場を作っていただきたいという提案させていただいたところです。

評価につきましては、これから8月に夏フェスの3年目に入りました。餅つき大会があって、地域の清掃があつたりするのですけれども、行事の周知につきましては、これもSNSや二次元バーコードを活用することで、若い世代も参加しやすくなったり、多くの人の交流機会を作ることができたということがよかったです。子ども食堂も、やはり年々子どもが増えてきましたし、高齢者と子どもの自然な世代間交流が進んで、顔の見える関係づくりが生まれました。

次年度に向けては、令和7年度、もう活動しておりますけれども、住民に対して支え合い活動のさらなる理解促進や活性化を図るということで、やはり支え合い活動のPRや勉強会等の開催、今年度、もう1回開催しております。既存の地域活動を継続していくために、新たな担い手発掘、育成のための工夫を考えていくということで、今、小学校、中学校のPTAのお父さんたち、お母さんたち、保護者に呼びかけをしながら、今、地域のイベントなどを手伝っていただいているように進んでおります。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、江南地区からご報告をお願いいたします。

(立川委員)

江南地区です。

私、委員になって本当にまだ会議に2回か3回しか出席していなく、この文章も把握していなくて申し訳ないですけれども、私が知っているところだけお話してよろしいでしょうか。すみません。

支え合いの仕組みの江南お助け会という会に属しているのですけれども、なかなかその会が、もう何年か前、数年前に立ち上げたようなのですけれども、なかなか進展していかないというか、利用者も少なくて、ボランティアの方は多少いらっしゃるのですけれども、利用してくださる方が少ないという状態で、今、皆さんにそれを周知していただくために、今回、新しいパンフレットを、他所のところのものを参考にしたりしながら、皆さんに分かっていただくために、ボランティアさんの新しいパンフレットを作るというお話になっています。私は民生委員

もやっているので、民生委員とのつながりを密にして、地域の人たちがどのようなことに困っているかとか、そういったことを一緒に考えながら、進めていったりしています。

江南地区は江南小学校、石山中学校があるのでけれども、石山中学校と江南小学校は、春と秋に2回、あいさつ運動というものがありまして、それを民生委員とか地域の人、父兄の方と一緒にあいさつ運動をして、その時は大きな声で皆さんがあいさつをして、中学生くらいになるとやはり少し恥ずかしいとか、そういう気持ちも出てくるのですけれども、そのおかげか、道路ですれ違っても「こんにちは」とか「おはようございます」とか、大きな声であいさつがだいぶ浸透してきていると思います。

石山中学校は、石山中の教育を考える会というのが年に3回くらいあって、そこで生徒と地域の方の代表がいろいろな話をして、「石山中学校がより良くなっていくためには」みたいな話し合いをしています。子どもたちも、地域のためにお手伝いができることがあるのではないかと思っている子もいて、会長とかそういう方とつなげて、子どもたちでもできるようなボランティアを計画していこうというお話を出ています。

私の住んでいる地域には100円サロンといって、地域のお茶の間、これももうだいぶ長いのですけれどもそれがあるって、ただ、以前は5、60名参加していたようなのですけれども、私がボランティアに出るようになってからは、ボランティア半分、いらっしゃってくださる方が半分で、約30名くらいで、いろいろな催し物をやって、先ほどどこかの地域でも言っていましたけれども、だんだんダンスとか、保健センターから保健師さんのお話とか、いろいろな催し物が毎月行われて、そういう会をやっています。ただやはり、皆さん、高齢になってくると歩いて来る方が大変で、なかなかそこが問題かと思います。子ども食堂も、私あまり把握していないのですけれども、やっているようです。

けっこういろいろなことをやっているのですけれども、会の連携というのか、それがなかなか見えてこないので、私たちはこういうことをやっている、私たちはこういうことをやっている、ではそこを、子どもとお年寄り、地域の人がどのように結び付けていけるのかということを考えていければいいなと思います。

次年度に向けて。次年度は、地域の見える関係性を育むために、参加を促す仕掛けや情報発信の工夫が重要となるとありますけれども、新興住宅地なので、若い方がけっこう多い地域ではあるのですけれども、お年寄りはやはりどうしても家に閉じこもりがちになるので、民生委員が地域を回って、いろいろなことを引き出したりとかして、若い方とつなげていければいいなとは思うのですけれども、なかなかそれが難しい状況にあると思います。

そんな感じです。よく分からないので。すみません。

(社会福祉協議会)

立川さん、今回から委員になられて、正直ここの評価の部分とかまで直接はかかわってはないのですけれども、普段の民生委員の活動とかに思いを持ってかかわってくださっているからこそ報告できたかと思います。実際に、評価の場面の中では大きく二つのキーワードがありまして、学校との関係性構築の兆しとか、楽しさを大事にしながらやっていきたいというようなお話もされております。

先ほど立川さんのお話の中で、なかなかお助け会の人がつながらないねとか、いろいろなところが、それこそ会の連動ができていない、これからできたらいいなという話があったのですけれども、それぞれに真面目に取り組み過ぎていて、そこに集中しちゃっているから、それが楽しく展開できるような取組みに広げていけたらいいな、加えて、今、学校の、小中学生の子のボランティア、積極的というお話がありましたけれども、学校の協力も得られそうな様子がうかがえるので、そこもまた連動しながらやっていきたいなということで、私たちの評価のほうでも話を聞いている状態です。

(小池委員長)

ありがとうございました。私も十分だなと思いながら聞いておりました。次です、今日欠席されています中野山地区、事務局からお願ひいたします。

(社会福祉協議会)

中野山地区の報告に移ります。

グループワークの意見の集約につきましては、推進目標1、2、3、4とございますが、それぞれA、C、B、Aという形でまとまっております。

取組み状況から見える課題としましては、いわゆる3Kではないですけれども、固定化、高齢化、個人情報の壁というところが大きいネックだということで話が出ておりました。特にこの固定化の部分とか、新しく越してきた人とのつながりが弱いというところが、やはり自治会組織とかが任意になっていたりすることもあるので、新しい人がやはり入りづらい雰囲気が地域内にあるのではないかということとか、個人情報の壁に関しましては、災害時、必要なときに必要な情報がつながらないというところがやはり不安が残るなというお話がありました。

よかったですところにつきましては、やはり、イベントや居場所を定期的に開催したり、学校と一緒にになって地域の美化活動とか、子どもたちと一緒にになって行うなどで、交流を深めていることが一定やっているのではないかということで評価が出ております。

次年度に向けてというところですが、中野山コミュニティ協議会の会長もよく言うのですけれども、向こう三軒両隣という言葉をキーワードにして、取組みを進めていこうということで展開しているコミュニティ協議会です。コミュニティ協議会としては、きっかけづくりの幅を

広げていく、いろいろな居場所、イベントとか活動を、コミュニティ協議会ができることをやっていく中で、一人でもそのつながり、入口に到達して、楽しみができればいいなということで、コミュニティ協議会として取組みを今年度、5項目やっていけたらというところになっております。ですから、「楽しい」ということ、先ほどの江南でも「楽しい」と私言いましたけれども、楽しいということを地域活動の参加理由の一つ、大きな理由の一つとして捉えて、企画をしたり、小さくてもイベントを定期開催して、共同作業の機会づくりを定期的に作っていけたらというところになっております。

また、防災に関しては、やはり世代を問わず関心を持ちやすいというところもございますので、活動の切り口として活用していくというところ。またそこと絡めて、中野山コミュニティ協議会としては、昨年度、お助けのガイドブックを作成したことがございまして、そういったデータといいますか、知る機会づくりをいろいろな面から展開していくことで、また新たな活動を今年度もできたらということでまとまっております。

(小池委員長)

ありがとうございました。次、南中野山地区、お願ひいたします。

(渡辺委員)

南中野山地区、渡辺であります。

まず推進目標1、2、3、4とありますけれども、順番にお話しますと、ちょっとした困りごとをお助けしようということで、「ヘルプ南中野山」という形で、一般の人から、助けを求めている方に対して、有料なのですけれども、ボランティアで助ける側の人、最近徐々に浸透してきて、年間の活動そのものが増えてきているということと同時に、今まであまり、大変さで力を入れなかつた移動支援ということについても、助ける側の人も、幸いなことに多くの方から手を挙げていただきまして、順調に進んでいます。変なことを言うようですがれども、悪いふうに考えればいろいろトラブルも予想されるのですけれども、今のところトラブルらしいトラブルは全く聞いておりませんので、そういう意味では順調に進んでいるなと思います。

目標2の、みんなが集まり楽しめる居場所づくり。これはコミュニティ協議会という単位で集まる場合と、各自治会が主催してやっている、二つの場合があると思いますけれども、どうしてもお年寄りになると足が十分でないということで、遠くまで行くのが大変だということで、全て大きなイベントをするのではなくて、各自治会単位でも、その自治会に合わせた対応をするということが求められているということを感じました。これについては、次年度以降といいますか、別な意味の集まりといいますか居場所もありますので、またそれはそのときにお話します。

推進目標3で、民生委員と自治会とのコミュニケーションということで、これは3、4年前

から、非常に会長が声高といいますか一生懸命やっておりまして、どこまでやればいいのかという到達点はよく分かりませんけれども、今のところは、どの自治会も民生委員児童委員と自治会との連携はほぼ十分であろうと、そういうふうに私自身も感じておりますし、評価も、その結果なのかどうか分かりませんけれども、Aとなっております。

防災体制を充実させるということですけれども、これはコミュニティ協議会主催の防災訓練は10月初旬の土曜日に毎年あるのですけれども、2段階を考えておりまして、最初、各自治会としての取組み。これは要支援者の安全確認ということの意味も含めて各自治会で行うという防災と、コミュニティ協議会全体で体育館のように広い所でイベントとか訓練とか、そういうことも含めて、その2段構え。これは私から言うのもおかしいのですけれども、コミュニティ協議会で防災訓練のときはペットを連れてぜひ集まってくださいということで、ペットも参加して、その状況をいろいろ、どういう問題が発生するか、対策をどうするかという、ペットのボランティア、名前を忘れましたけれども、動物愛護協会みたいな感じのボランティアの方のご協力を得て、何年か前からやっておりまして、その点についても、周知が進んでいるように思われます。

先ほど中途半端な言い方をしましたけれども、居場所づくりということで、2年ほどくらい前から、子ども食堂と認知症カフェという形の居場所を何とかして作りたいということでいろいろ検討しております。まだ具体的に、何をどこで、誰をというところまではいかないのですけれども、だんだん話し合いの中で固まりつつあります。メンバーとしましては支え合いのしくみづくり委員、6、7人、プラス、ボランティアとして、認知症カフェを立ち上げますけれどもお手伝いしてくださる方はいませんかと言って、手を挙げられた5、6人の方、一緒になって会議を持っております。当然の話ながら、皆さん、みんな、バックとなる知識が違いますので、いろいろな意見が出ておりますけれども、何とか、具体的に進めていっているのではないかと思って、いついつということがはっきり言えませんけれども、そういうことで進んでおります。

次年度に向けて。コミュニティ協議会としては大きい、取組みとしてはそういうことなのかなという気がします。

(小池委員長)

東中野山地区からお願ひいたします。

(小野寺委員)

東中野山地区です。

冒頭、自己紹介のときも申し上げましたけれども、私はこういう会は初めて参加しまして、どんなことが話し合われるのかということを全く分からず参加しました。内容を聞いてやっと

分かったのですけれども、遅かったですね、分かるのが。

ここにグループワークの意見集約ということで載っておりますけれども、私が覚えているのが、コミュニティ協議会で、自治会長が集まって役員会を開催して、それが終わったあとに、社会福祉協議会から、この件についての話し合い、グループワークをしたいということで突然あって、そんな、時間もかかるしやつていられないと反対もされて、結局、別の日に設定をしたと覚えているのですけれども。こういうふうなことがその時に話し合われたのですね。

文章が長々と書いてあると何が何だかよく分からぬことがあるのですけれども、まず、誰もが安心して暮らしていけるネットワーク。立派なことが書いてありますけれども。コミュニティ協議会には五つの専門部会がありまして、それぞれ活動しております。その中で、「みんなの広場」というのがあるのですけれども、これは毎月第3水曜日に開催をしているのですけれども、そこに参加される方も、ほとんどご年配の方々です。それが、最近、理由は分からぬのですけれども、参加者が増えてきているということなのです。主催をしているほうでもびっくりしている。そんな状況です。そこへ、ふれあいスクールはその時々の、詐欺に関する話とか、そういう、問題になっているようなことを、専門の人を呼んできて話を聞くとか、聞いたあとに食事会をやって交流を深める。そういうような、本当にシンプルな会合のですけれども、出てみると、皆さん、にっこにこして話をして、楽しそうにやっているのです。ですから、何かしら魅力があるのだろうと思います。まだ私は分かっていませんけれども。私も参加したりしていますけれども。楽しいです、参加すると。

地域の茶の間でございますけれども、うちのコミュニティ協議会も7から8のグループのお茶の間のグループがあるということで、それぞれ担当の人たちが頑張ってやっておられるということでございます。

支え合い応援隊。ひと昔は支え合いしくみづくり。いつまでたっても支え合いしくみづくりなんておかしいじゃないかということで思っていたのですけれども、いつからか支え合い応援隊と名前が変わっていました。ところが、なかなか支え合い応援隊の仕組みが分かりづらいということで各自治会から話があがってきて、もっとシンプルに、分かりやすい形の仕組みを作つてはどうかということがあがってきておりまして、基本は基本としてやりますけれども、各自治会の、例えば役員の負担になるようなことはしない、負担にならないような形で役員の皆さん、あるいはボランティアの皆さんから協力していただく。これを上のほうで決めて、これはこうだというふうに上位下達の方法ではなく、各自治会で話し合って検討していただいて、やりやすいようにやっていただくというふうに変えていきましょうということで、先日、話し合いました。

民生委員との関係ですけれども、私も自治会長をやっておりまして、当初から、民生委員は

自治会の役員会に必ず入っていただいて、自治会でどのようなことが話し合われているのか、何か課題があるのか、これを民生委員の方からよく知っていただく。そして、民生委員の方からも、自治会の現在の、高齢者なり、あるいは子どもたちのことについて、課題についてお話を来て、役員の皆さんに周知をしていただく。それを、私が今年で9年になるので、そうやってずっとやってきております。そしてコミュニティ協議会では、2、3年くらい前からでしょうか、民生委員を入れた役員会を開きましょうという話が出てきたのですけれども、それが各自治会でそれがまだ徹底されているかどうか、私は分かりません。私は今回、コミ協の会長になったので、そういうことはよく話し合って、徹底して民生委員と継続してやっていく、そういう課題を、よい方向に作り上げていきたいと考えております。

担い手不足と言われておりますけれども、それで困ったという話は聞いておりません。ただ困ったという話を聞くのは、あまりにも負担が大きいことが上のほうからどんどんくる。これは止めていただきたい。そういう苦情が自治会からあります。ですから、私の自治会でもそうなのですけれども、役員の皆さんは、こういうことはちょっと負担だから、私は日中仕事もしているし、仕事をしていない人と同じように扱われても困るし、何とかならないか。このままだと私は役員を続けることができないと、そういう話があります。ですから、負担にならないような形をどうしたらいいのか、役員の皆さんでよく話し合っていただいて、そして「これだ」というようになれば、それでやっていく。そして、負担だと言った人もそれで納得していただいて、そして継続していただいていく。そういうふうにして、言葉を変えれば柔軟に対応して、そうすれば継続が長続きするように取り組んでいるということでございますけれども。今のところ、各自治会からも、役員の成り手がいないで困ったとかいう話は一切聞いておりません。高齢者、高齢者という話はよく聞きます。けれども、高齢者の方でも、一生懸命、元気はつらつと大いに活動なさっている方がたくさんおります。ですから、高齢者というともう足腰が立たなくて寝たきりみたいな言い方は止めましょうよ。そういう方で本当に支援が必要であれば、それはちゃんと民生委員なり包括支援センターと協力しあって対処していくということにしていけば、何ら問題はないのではないかと思っております。

つたない委員でございますけれども、よろしくお願ひします。

(小池委員長)

ありがとうございました。各地区からのご報告、本当にありがとうございました。

ただいまの各地区からのご説明、ご報告につきまして、最初にお伝えしましたように、コミュニティ協議会以外の団体よりお越しの皆様からご意見やご感想でも構いませんので、ひと言ずついただければと思います。大澤委員からお願ひいたします。

(大澤委員)

いつもこの会議に民生委員という言葉がたくさん出てきて、民生委員という立場はどういう立場なのか、何か宙ぶらりんなのでしょうか、いつも自治会長と仲が悪いとかそういう意見がたくさん聞こえて、本当に切なくなるのです。皆さん、もっと民生委員、かわいがってください。よろしくお願ひいたします。

桃山地区の活動の中で、助けてと声をあげにくい住民へのアプローチが難しく、生活困窮や支援が必要な人を見つけにくいという課題がありましたが、本当に全くそのとおりで、私たちもすごく困っていたのですけれども、基本目標の1番の見守り訪問による高齢者の実態把握というものがあります。これができたことによって、大変ありがたい取組みだと思っているのですけれども、こういう実態把握が本当によくできるようになりましたので、助かっております。

地域には、やはり赤ちゃんから、障がい者がいたり、若い健康な男女がいたり、そして足腰の弱ったお年寄りがいたりするのですけれども、これは本当に正常なことだと思っているのです。当たり前のことだと思っているので、その中の一人でも、誰かが弱者にならないように、みんなが共存できる地域を作るために、民生委員は日々勉強しながら、困っている人が出てきたらどこの機関につないだらいいのか勉強しているわけです。よろしくお願ひいたします。

(小池委員長)

ありがとうございました。櫻井委員、お願ひいたします。

(櫻井委員)

全地域を聞かせていただいて、それぞれが、本当に活動されたり、地域をちゃんと見渡してくださっているのだなということをすごく感じました。

私どもの活動の中でも、居場所への利便、要は足がなくて行けないとか、参加するには、慣れた人ばかりでハードルが高いとかいうお話はやはり出ます。そこが皆さんの中に抽出されていて、その中で、どこの地域でしたか、自治会ごとのところに、歩いて行けるところの居場所というところを苦心していただいているところがあったなとか、どこへ行っても高齢者、高齢者という話が出るというような話も出ていますが、高齢化率もやはり東区、どんどんあがっている状況なので、どちらを見ても高齢者のお話が出てくるということはあると思うのですが、どうしても居場所だとか、そこに支障が出たときの皆さんのがえ合いの仕組みというところに助けられているのだなということを感じながら、聞かせていただきました。

移動支援というところも、南中野山さんなどの取組みのお話はよく聞かせていただいているのですが、この話もかなり多く出ています。免許返納者の利便、交通の便というところに関しては、本当に、受診一つから出てくるところであって、これからはこれがかなり広がっていくのだろうなという事象の一つかと思っております。

さまざま問題がある中ですが、また皆さんのお力を借りしながら、私どもも頑張らなくち

やと思いながら聞かせていただきました。ありがとうございました。

(小池委員長)

ありがとうございます。次、桑野委員、お願ひいたします。

(桑野委員)

毎回出させていただきまして、皆さん本当に安心、実にまちづくりのために心くばつていただいているという姿に、非常に感動しました。

私、先日、お友達と一緒にコンサートに行きまして、楽しい気持ちで、別れ際に彼女が、スポーツウーマンなのですけれども、縁石につまずきまして、立ってみしたら、ひざが、かつぱりと3か所が、中から血だるまが見えていて、慌てて私がハンカチで押さえまして、車に乗っている人も止まってくださって、何が起きましたかとか、看護婦さん風の人がたくさんカットパンをくださったり、太ももを押さえたほうがいいよと言ったり、今、海外から帰って来たばかりという人が車を探してくださったり、みんながいろいろに動いていただきまして、最終的に、1時間後くらいでしょうか、救急車を呼ぶことになりました、それもあちこちらい回しになってやっと縫ってもらったという事件が起きました。

本当に私も2年前から後期高齢者を迎えて、本当に心身ともにいろいろなことが突然起きてきて、老人クラブに対する考え方も非常に変わりまして、老人クラブというのは、やはり、いろいろ、人生最終章に向かって共に戦っていく同志のような、そういうところなのだなということをすごく感じました。ですから、一人暮らしで寂しく亡くなっていくような、そういう方たち、そういう人を作ってはいけない。若い時であれば一人ぼっちでも大丈夫ですけれども、年を取ってたった一人ぼっちで人生終わっていくということはどんなに辛い事かなということを、最近、つくづく感じるようになりました。

この東区の老人クラブもだんだん人数が減りまして、今年度、440人でしょうか、80名ほど減ったのです。いろいろな事情があると思いますけれども、まだまだ地域の中にはそうやって一人ぼっちになっている人たちがたくさんいらっしゃるのではないかと思います。先ほど民生委員の方から、そういう方のケアをしてくださっているということもお聞きしましたし、老人クラブとしても、そういう人たちを見つけ出し、ともにいい人生を歩んでいこう、励まし合いの同志として生きていけるような、そういう地域を作つたらすごくいいかなということをつくづく感じました。すみません、個人的なことで終わってしまって。よろしくお願ひいたします。

(小池委員長)

ありがとうございました。樋口委員、お願ひいたします。

(樋口委員)

最後になりました。今日はありがとうございました。うちは東山の下地区なのですが、A、Aと評価のほう、どちらもAをいただいて、順調に進んでいるなと思います。

高齢者は、みんな元気な地区だと思います。お茶の間もたくさんありますし、コミュニティ協議会、市会、ボランティア、とても協力的いろいろなことをやっていて、皆さんにお世話になって、まとまっていると思います。

私自身は今民生委員の会長をしています。今回、改選の期でもあり、後任探しで、コミュニティ協議会にもお願いして、順調に後任を探していただきまして、もう一人だけ見つかっていないのですけれども、こちらのほうで頑張っております。

高齢者、高齢者と言っているのですが、高齢者よりも、今日の午前中、学校運営協議会がありまして、そちらに行ったら、先生方も大変だと身に染みて感じましたし、反抗期が低年齢化していると聞いて、お母さんの言うことをきかない、先生の言うこときかない、だけど先輩の言うことはきくということで、なるほどなということでいました。

私たち、今、高齢者の見守りができる時間もありますし、何かお手伝いできることがあればぜひということで先生方にお話してきました。

今日、いろいろなお話を聞いて、また参考にしていきたいと思います。ありがとうございました。

(小池委員長)

ありがとうございました。皆様からのご報告を聞かせていただきながら、私もひと言だけ。やはりつながりということがすごく大事なのだなということを、改めて、皆様のご報告から感じさせていただきました。活動の正しさと、人とのつながり、つながるということを良しとしていくというところを、地域の中で作ろう、作っていくことができるかということはすごく大事だと思って聞かせていただきました。

余談的になるかもしれないのですけれども、福祉分野ですごく長くおられる方は分かると思うのですが、今の仕組み、いわゆる契約の仕組みになって大体30年、25年ですか、2000年のことに入ってくるので。何かというと昔々は、福祉の仕組みは、行政が責任をもってサービスに確実につなげますよという仕組みがあったのですが、そうではなく、皆さんお一人お一人のニーズに合わせて社会福祉のサービスを提供していきましょうというのが今の仕組み、介護保険も障がいもという形になっています。そうなってくると、やはり、そこで生活をされている方たちお一人お一人が、自分が困っているということを発信できないとサービスにつながらない、支援につながらないという仕組みの中で今25年きているというのが現状です。多分、25年前はそれが成立したと思いますし、そういう中で、やはり私の生活を私たちは自分で作っていくということはすごく大事な観点で、今もそれは変わらないと思うのですが、今、皆さん

ご発言いただいたように、高齢であったりとか、障がいがあったりとか、今、私は午前中、最近保育園にはいろいろな国の子どもたちが来ているんだという話を聞いていたので、そういう他文化から来られた方たちとか、そういう方たちに声を出してと言わなければいけないというか、そういう社会になって、それが今、制度を作られたときとは違う状況になってきていて、そこで私たちみんなが声を出せないのではなくて、出したいけれども出す状況が非常に厳しい人たちに対して、地域や、関心がある人たちがどうそこに近寄っていくというか、一緒に近づいていく、それこそつながっていくことができるかという社会になってきているのだなということを改めて感じさせていただきました。

つながっていることを良しとする社会というのを、皆さんと一緒に一つずつ作っていければいいなと思って聞かせていただきました。

ありがとうございました。予定しておりました報告については以上で終わりますけれども、そのほか、全体をとおして、皆様からご質問やご意見等ございませんでしょうか。

(伊藤委員)

紫竹中央コミュニティ協議会の伊藤です。

先ほど資料の説明をさせていただきました。地域ぐるみで安全をということで、私たちは子ども見守り隊を7年くらいやっているわけですが、行政では学校支援課が担当窓口ということのようですが、冒頭でも説明したとおり、最近、メールの書き込みに、この見守り活動が、はつきり言うと、スマホにも出ていますように、「うざい」とか「うつとうしい」とか、そういうふうなことが平然と出ているということで、今は学校は休みに入っていますが、実際、もう7年間も、雨の日も、ましてやこの新潟は雪の日も、雨具を着て長靴を履いて、1時間足らずではありますが一生懸命やっているつもりが、このようなメールでも、何かそのような表現をされているという方が少なからずいたということで、本当に残念で、今後、その活動をどうしようかということで、行政、学校支援課にも相談してみなければならないというようなことで、この苦労が、果たしてどこまでどうすればいいのか、そういうことも含めて、行政の方、何かアドバイスをいただけたらと思います。いかがでしょうか。

(小池委員長)

ご質問ありがとうございます。事務局からお答えいただけることはございますでしょうか。

(事務局)

子どもの見守りということで、7年間継続されているということで、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。

学校支援課にはまだお伝えされていないということなのかと思いますけれども、メールの書き込み、SNSでしょうか、もしかするとSNSでの書き込みというのは、今おっしゃったケ

ースだけではなくて、いろいろなところで、いろいろな書き込みをされる方が増えています。例えば、具体的に言えば、私どもの職場でいえば、窓口の対応が悪かったからといってＳＮＳにあげてやるぞと脅されたり、そういうカスタマーハラスメント的なことも起きています。そういうことで、いろいろなところでそういうツールを使って、混乱ではないのでしょうかけれども、何か面白くないからということで自分の不満をぶつけるという方がいらっしゃるという状況であると。それは現代の問題でもありますし、それに対して具体的にどうすればいいかという知恵は私のほうには、なかなかお伝えすることはできませんけれども、これからどんどんそういうことで、一つ一つのことに対して対応していくということは当然していかなければいけない。今言った窓口でも、私どもの職場でも課題になっていますし、それについてどうしていこうかと。では組織で対応していくのかとか、いろいろな対応を考えていかなければいけないのかなと思っています。

今お聞きした内容については、学校支援課には伝えさせていただきたいと思いますので、そのあとまた、いろいろ相談させていただければと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

(小池委員長)

ありがとうございます。うちの夫も約9年間立っておりますので、ちょっと悲しいですねと思いながら聞かせていただいておりましたけれども、でも、声に出さない感謝している方たちのほうが圧倒的に多いと思います。感謝されている方たちは、声を出す機会はなかなかないので、やはり伝わらないと思いますけれども、見ている限りにおいては、子どもたちを本当に見守ってくださっている人たちが、本当に、暑い中も寒い中も、よく皆さん、立ってくださっているな、見守ってくださっているな、そして子供の成長をずっと見守ってくださっている、同じ場所で、いつもそこに同じ人がいるということの安心感と強みを感じておられる方たちのほうが圧倒的に多いと思います。

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

皆様、本当にたくさんのご意見、ありがとうございました。予定しておりました報告事項につきましては以上で終わりますので、そのほかにつきまして、次第5、東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会のスケジュールにつきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料5、お手元にご準備をお願いいたします。

資料5のスケジュールなのですけれども、令和7年度東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会のスケジュールになっております。左から、推進委員会とその他の二つに分かれております。はじめに、左の推進委員会の内容につきまして私から報告させていただきます。

推進委員会でございますが、第2回目を年度末の3月ごろを今予定しているところです。内容については未定ですが、東区内 12 地区で進めている活動も東区地域福祉計画を推進していく重要な項目となっておりますので、皆様からのご協力をお願いしたいと思います。

私からは以上になります。その他については、社会福祉協議会から説明をお願いいたします。

(社会福祉協議会)

川上です。私から、この真ん中にまたがっている地域福祉座談会、その他の部分について説明いたします。

その他の部分についてなのですけれども、地域の皆様に関係するような研修やフォーラムを予定しておりますので、機会がありましたら参加していただけたらと思います。また随時、ご案内は出します。

真ん中の地域福祉座談会についてです。昨年度、皆さん、今回、評価の報告をしていただいたわけなのですけれども、また今年度も、同じように地域福祉座談会を開催したいと思っております。初めての方もいらっしゃるので、あくまでも私からの説明は昨年実施した基本の形式となっております。ですから、地区のスケジュールとか状況によっては多少前後することをご承知おきいただけたらと思います。

まず、大体8月以降、概ね8月以降を目途に、各コミュニティ協議会から選出された委員の皆様に、当会の地区担当職員を中心に座談会の打ち合わせの事前打ち合わせをお願いしたいと思います。そこでは、開催に向けて、事前打ち合わせにご出席していただく方とか、事前打ち合わせの時期などについてご相談をさせていただきます。その後、概ね10月以降でしょうか、地区ごとに地域福祉座談会の開催に向けた打ち合わせを実施、秋から概ね2月を目途に、各地区において地域福祉座談会を開催したいと思います。

なお、今年度の内容につきましては、前年度のように、各目標に沿った開催ではなく、テーマに特化した内容も可能としたいと思います。実際、令和6年度、実施した際には、あるテーマに対して話が盛り上がって、このテーマ、次年度、みんなで検討したいねというようなお声も聞かれましたので、内容については随時、地区の担当職員とご相談いただけすると幸いです。

最後になります。各地区の地区別計画の推進をとおして、地域の皆様にとって地域活動がより充実したものとなりますように、計画推進に向けて一緒に取組みを進めていただけますよう、お願い申し上げます。

(小池委員長)

ありがとうございました。以上で本日の内容は全て終了いたしました。事務局へ進行をお返しいたします。皆様、ご協力ありがとうございました。

(司 会)

小池委員長、どうもありがとうございました。続きまして次第6、事務連絡、お願ひします。

(事務局)

皆様、本日はお忙しい中、大変ありがとうございました。

事務連絡です。本日出席していただいた方々、謝礼につきましては、8月末ごろまでに皆様のご指定の口座に振り込みを予定しておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

先ほどスケジュールについてご説明いたしましたが、次回の推進委員会につきましては3月ごろを予定しております。時期がきましたらまた皆様にご連絡をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

(司 会)

以上をもちまして、令和7年度第1回東区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を閉会といたします。皆様、本日は、お忙しいところ、長時間にわたり、まことにありがとうございました。お忘れ物ないよう、気を付けてお帰りください。